

様式7

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	現代の国語	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解する能力を育成し、効果的に表現する資質・能力を高める。国語の特質を理解した上で、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。また、言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨くとともに、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書: 高等学校 現代の国語(第一学習社) 副教材: 「新訂版 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2」(数研出版) 「新版 意味から学ぶ頻出漢字 3000」(第一学習社) 「トータルサポート新国語便覧」改訂版(大修館書店) 「国語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・実社会に必要な国語に関する技能を身に付けている。 ・言語には、理解や思考を支える働きがあることを理解し、言葉の特徴やきまり、漢字などの知識を身に付けている。	・論理的に考える力や、対象に深く共感し、豊かに想像する力を身に付けている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	1 ○評論 『生きもの』として生きる」 ○評論 「水の東西」 2 ○小説 「羅生門」 ○評論 「ものとことば」	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100 点	100 点	100 点
2 学 期	3 ○評論 「文化」としての科学 ※(投げ入れ教材) ○詩歌 「蝨のうへ」「一つのメルヘン」 「自分の感受性くらい」 4 ○評論 「フェアな競争」 ○小説 「夢十夜」 言語活動	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題

	○話して伝える スピーチで自分を伝える			
	評価点	100 点	100 点	100 点
3 学期	5 ○評論「不均等な時間」 ○小説「城の崎にて」 言語活動 ○書いて伝える 社会に対する意見文を書く	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期		1	
	4	○評論『『生きもの』として生きる』	5
	5	○評論「水の東西」	5
		第一学期中間考査	
		2	
1 学期	6	○小説「羅生門」	9
	7	○評論「ものとことば」	5
		第一学期期末考査	
2 学期		3	
	8	○評論「文化」としての科学	6
	9	※(投げ入れ教材)	
	10	○韻文 詩「甞のうへ」「I was born」	7
		パフォーマンス課題2 詩を味わう(鑑賞と発表)	
		第二学期中間考査	
		4	
	10	○評論「フェアな競争」	6
2 学期	11	○小説「夢十夜」	5
		言語活動	
	12	○話して伝える スピーチで自分を伝える	4
		第二学期期末考査	

3 学 期	1	5 ○評論「不均等な時間」	6 8 4 学年末考查
	2	○小説「城の崎にて」 パフォーマンス課題 3 作品のメッセージを分析する(交流) 言語活動	
	3	○書いて伝える 社会に対する意見文を書く	

5 その他

真剣に授業を受けることはもちろん大切だが、日常生活の中でさまざまな文章に触れたり、自分の意見を論理的に述べたりする機会を積極的に作ろう。語彙や知識が増え、論理的な思考力や表現力がついてくる。授業では漢字テストや、单元ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文)の課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考查は、第1学期中間考查・期末考查、第2学期中間考查・期末考查、第3学期学年末考查の全5回を実施する。学びの基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	言語文化	単位数	3単位
		学年等	1年生普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解する能力を育成し、効果的に表現する資質・能力を高める。国語の特質を理解した上で、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。また、言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨くとともに、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書：高等学校 言語文化(第一学習社) 副教材：「基本の古文 大学入学共通テスト対策新装二版(尚文出版)」 「基本の漢文 大学入学共通テスト対策新装版(尚文出版)」 「解釈のための必携古典文法 三訂新版(啓隆社)」 「必携古典文法ノート 三訂新版(啓隆社)」 「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版(桐原書店)」 「【基礎から解釈へ】漢文必携チェックノート 五訂版(桐原書店)」 「読んで見て聞いて覚える重要古文単語315 四訂版(桐原書店)」 「トータルサポート新国語便覧(大修館書店)」 「古語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。) 「漢和辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・言語には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、現代の言葉とのつながりについて理解している。	・論理的に考える力や、対象に深く共感し、豊かに想像する力を身に付けている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	古文入門 ○説話「児のそら寝」(宇治拾遺物語) 漢文入門 ○「訓読に親しむ」 古文入門 ○物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) 故事成語 ○「漁父之利」「狐借虎威」	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

2 学期	随筆 ○「はしたなきもの」(枕草子) ○「ある人、弓射ることを習ふに」(徒然草) 史伝 ○「完璧」「先従隗始」(十八史略) 歌物語 ○「芥川」「東下り」(伊勢物語) 史伝 ○「臥薪嘗胆」(十八史略)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100 点	100 点	100 点
3 学期	和歌 ○百人一首(冬課題) ※三首程度授業で扱う 日記 ○「門出」「帰京」(土佐日記) 漢詩 ○唐詩の世界(江雪／静夜思／月夜／送元二) 思想 ○「論語」より数編	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	古文入門 ○説話「児のそら寝」(宇治拾遺物語) ・歴史的仮名遣い／品詞／動詞(四段・上二段・下二段)	9
	5	漢文入門 ○「訓読に親しむ」 ・漢文の構造／訓点／書き下し文／置字など 第一学期中間考査	6
	6	古文入門 ○物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) ・動詞(上一段・下一段・力変・サ変・ナ変・ラ変)	9
		・係り結びの法則 ・接続助詞「ば」 ・用言の音便 ・形容詞と形容動詞 ・助動詞(種類と過去)	3
	7	漢文入門 ○「訓読に親しむ」 ・再読文字	3
		故事成語 ○「漁父之利」「狐借虎威」 ・否定形／使役形／反語形／疑問形 パフォーマンス課題1 故事成語について考える 第一学期期末考査	6

2 学 期	8	随筆 ○「はしたなきもの」(枕草子)	・助動詞(完了・打消)	6
	9	○「ある人、弓射ることを習ふに」(徒然草)	・助動詞(む・むず・べし)	6
		史伝		
	10	○「完璧」(十八史略)	・受身形／使役形	5
		○「先従隗始」(十八史略)	・使役形／抑揚形／比較形／反語形	5
		第二学期中間考査		
	10	歌物語 ○「芥川」(伊勢物語)	・助動詞(過去(確認)・完了(確認)・まし)	7
	11		・願望「なむ」／打消接続「で」／え～ず	
3 学 期	11	○「東下り」(伊勢物語)	・助動詞(打消推量・断定・らむ・けむ)	7
	12	パフォーマンス課題2 表現を味わう(鑑賞と発表)		
		史伝 ○「臥薪嘗胆」(十八史略)	・疑問形／否定形	6
		第二学期期末考査		
	1	和歌 ○百人一首(解説とゲーム)	・和歌の技巧 パフォーマンス課題3 和歌を味わう(鑑賞文)	3
		日記		
	2	○「門出」(土佐日記)	・助動詞(伝聞推定)	7
		漢詩 ○唐詩の世界(江雪／静夜思／月夜／送元二)	・漢詩の修辭	6
3 学 期	3	日記 ○「帰京」(土佐日記)	・助動詞(使役・その他を含め助動詞のまとめ)	7
		思想 ○「論語」より数編	・思想史	4
		学年末考査		

5 その他

高校では、古文の文法事項や漢文の句形を基礎から学ぶことによって、古典を正確に読めるようになることを目指す。暗記すべきことが多いが、粘り強く取り組むことによって古典を読む楽しさが味わえるようになる。また、昔の人々の生活や文化、ものの考え方なども授業で紹介していく。現代と共通するもの、異なったものなど様々な発見があるだろう。日常生活の中でも昔のことを扱った本やテレビ番組などに積極的に触れてみよう。単元ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文等)の課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。学びの基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	言語文化	単位数	2単位
		学年等	1年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解する能力を育成し、効果的に表現する資質・能力を高める。国語の特質を理解した上で、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。また、言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨くとともに、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書：高等学校 言語文化(第一学習社) 副教材：「基本の古文 大学入学共通テスト対策新装二版(尚文出版)」 「基本の漢文 大学入学共通テスト対策新装版(尚文出版)」 「解釈のための必携古典文法 三訂新版(啓隆社)」 「必携古典文法ノート 三訂新版(啓隆社)」 「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版(桐原書店)」 「【基礎から解釈へ】漢文必携チェックノート 五訂版(桐原書店)」 「読んで見て聞いて覚える重要古文単語315 四訂版(桐原書店)」 「トータルサポート新国語便覧(大修館書店)」 「古語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。) 「漢和辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・言語には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、現代の言葉とのつながりについて理解している。	・論理的に考える力や、対象に深く共感し、豊かに想像する力を身に付けている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	古文入門 ○説話「児のそら寝」(宇治拾遺物語) 漢文入門 ○「訓読に親しむ」 古文入門 ○物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題

	故事成語 ○「漁父之利」「狐借虎威」		・自主挑戦課題	
	評価点	100 点	100 点	100 点
2 学期	随筆 ○「ある人、弓射ることを習ふに」(徒然草) 史伝 ○「先從隗始」(十八史略) 歌物語 ○「芥川」「東下り」(伊勢物語) 史伝 ○「臥薪嘗胆」(十八史略)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100 点	100 点	100 点
3 学期	和歌 ○百人一首(冬課題) ※三首程度授業で扱う 日記 ○「門出」(土佐日記) 漢詩 ○唐詩の世界(江雪／静夜思／月夜／送元二) 思想 ○「論語」より数編	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	古文入門 ○説話「児のそら寝」(宇治拾遺物語) ・歴史的仮名遣い／品詞／動詞(四段・上二段・下二段)	5
	5	漢文入門 ○「訓読に親しむ」 ・漢文の構造／訓点／書き下し文／置字など 第一学期中間考査	5
	6	古文入門 ○物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) ・動詞(上一段・下一段・カ変・サ変・ナ変・ラ変) ・係り結びの法則 ・接続助詞「ば」 ・用言の音便 ・形容詞と形容動詞 ・助動詞(種類と過去)	6
	7	漢文入門 ○「訓読に親しむ」 ・再読文字	3
		故事成語 ○「漁父之利」「狐借虎威」 ・否定形／使役形／反語形／疑問形 パフォーマンス課題1 故事成語について考える 第一学期期末考査	5

2 学 期	8	随筆 ○「ある人、弓射ることを習ふに」(徒然草)	・助動詞(む・むず・べし)	6
	9	史伝 ○「先從隗始」(十八史略)	・使役形／抑揚形／比較形／反語形	7
	10	歌物語 ○「芥川」(伊勢物語)	・助動詞(過去(確認)・完了(確認)・まし) ・願望「なむ」／打消接続「で」／え～ず	6
	11	○「東下り」(伊勢物語)	・助動詞(打消推量・断定・らむ・けむ) パフォーマンス課題2 表現を味わう(鑑賞と発表)	5
	12	史伝 ○「臥薪嘗胆」(十八史略)	・疑問形／否定形	4
			第二学期中間考査 第二学期期末考査	
3 学 期	1	和歌 ○百人一首(解説とゲーム)	・和歌の技巧 パフォーマンス課題3 和歌を味わう(鑑賞文)	3
	2	日記 ○「門出」(土佐日記)	・助動詞(伝聞推定)	5
		漢詩 ○唐詩の世界(江雪／静夜思／月夜／送元二)	・漢詩の修辞	6
	3	思想 ○「論語」より数編	・思想史	4
			学年末考査	

5 その他

高校では、古文の文法事項や漢文の句形を基礎から学ぶことによって、古典を正確に読めるようになることを目指す。暗記すべきことが多いが、粘り強く取り組むことによって古典を読む楽しさが味わえるようになる。また、昔の人々の生活や文化、ものの考え方なども授業で紹介していく。現代と共通するもの、異なったものなど様々な発見があるだろう。日常生活の中でも昔のことを扱った本やテレビ番組などに積極的に触れてみよう。単元ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文等)の課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。学びの基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2単位
		学年等	2年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
使用教科書 副教材等	使用教科書:「精選論理国語」(東京書籍) 副教材:「五訂版 正しく読み・解くための力をつける現代文ステップ 3」(数研出版) ★「進研WINSTEP現代文2 新課程版」(ランズ) ★はフロンティアクラスのみ ※「意味から学ぶ頻出漢字 3000」(第一学習社) ※は一年次からの継続使用 ※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店) ※「国語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解し、論証のための必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係や推論の仕方について、理解を深めようとしている。	・書くことについて、様々な観点から情報を収集、整理して、自分の立場や論点を明確にするとともに、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。また、表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、自分の主張が的確に伝わる文章記述を目指している。 ・読むことについて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。さらに、主張を支える根拠や結論を導く論拠を多面的・多角的な視点から批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を評価しようとしている。	・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・各教材の目標や学習内容等に応じて、積極的に、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの学習について、今までの学習を生かして、見通しをもって取り組もうとしている。 ・各単元の具体的な言語活動に前向きに取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	①発見への誘い 「いつもそばには本があった」(國分功一郎) 「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) ○論理の力 1 つなげる力 ②言語と認識 「科学的『発見』とは」(小川真理子) ○探究編「資料を整理し、テーマを吟味する」 ○論理の力 2 論証する力 ○言葉のトレーニング 「『ヘビににらまれたカエル』の生き残り戦略」(西海望)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	③人間を見つめる 「分人とは何か」(平野啓一郎) 「メディアの変容」(土井隆義) ○言葉のトレーニング 「地方都市を考える」(貞包英之) ○論理の力 3 要約する力 ⑤社会を捉え直す 「『である』ことと『する』こと」(丸山真男) ○探究編「仮説を立てて検証する」 ○論理の力 4 質問する力 ○言葉のトレーニング 「つながりとしての段落」(石黒圭)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	④学問のまなざし 「『環境』とは何か」(上柿崇英) ⑤社会を捉え直す 「消費されるスポーツ」(多木浩二) ○探究編 「社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」 ⑥イメージを読む 「地図の想像力」(若林幹夫)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第一 学 期	4	①発見への誘い 「いつもそばには本があった」(國分功一郎)	3
	5	「ミロのヴィーナス」(清岡卓行)	5
		第一学期中間考査	1
		○論理の力 1 つなげる力	1
	6	②言語と認識 「科学的『発見』とは」(小川眞理子)	5
		○探究編 「資料を整理し、テーマを吟味する」	4
	7	パフォーマンス課題 1 資料を整理し、テーマを吟味する ○論理の力 2 論証する力 ○言葉のトレーニング 「『ヘビににらまれたカエル』の生き残り戦略」(西海望)	1 3 1
第二 学 期	8	③人間を見つめる 「分人とは何か」(平野啓一郎)	5
	9	「メディアの変容」(土井隆義)	5
		○言葉のトレーニング 「地方都市を考える」(貞包英之)	3
	10	第二学期中間考査	1
		○論理の力 3 要約する力	1
	11	⑤社会を捉え直す 「『である』ことと『する』こと」(丸山眞男)	7
		○探究編 「仮説を立てて検証する」 パフォーマンス課題 2 仮説を立てて検証する	3
第三 学 期	12	○論理の力 4 質問する力 ○言葉のトレーニング 「つながりとしての段落」(石黒圭)	1 2
		第二学期期末考査	
	1	④学問のまなざし 「『環境』とは何か」(上柿崇英)	5
		⑤社会を捉え直す 「消費されるスポーツ」(多木浩二)	5
	2	○探究編 「社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」 パフォーマンス課題3 小論文記述	2
	3	⑥イメージを読む 「地図の想像力」(若林幹夫)	5
		学年末考査	1

5 その他

論理的文章の読解力の向上には教科書や問題集の文章をじっくり読むだけではなく、日常生活の中で人の意見を聞いた
り、意見をうまくまとめて要領よく発表したりすることが大切な取り組みとなる。論理的な思考ができるように日々しっか
り考える習慣をつけて欲しい。授業では漢字テストや、学期ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文)のパフォーマ
ンス課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。学び
の基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2単位
		学年等	2年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考・判断・表現】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
使用教科書 副教材等	使用教科書:「古典探究 古文編」(大修館書店) 「古典探究 漢文編」(大修館書店) 副教材:「新成古文 大学入学共通テスト対策 新装版 2」(尚文出版) 「新成漢文 大学入学共通テスト対策 新装版 2」(尚文出版) ★「進研WINSTEP古典2 新課程版」(ランズ) ★はフロンティアクラスのみ 「読んで見て覚える重要古文単語 315 四訂版」(桐原書店) ※「解釈のための必携古典文法 三訂新版」(啓隆社) ※は一年次からの継続使用 ※「書き込みながら覚える古典文法ワークノート」(第一学習社) ※「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版」(桐原書店) ※「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版チェックノート」《基本編》(桐原書店) ※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店) ※「古語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。) ※「漢和辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を深く解釈するとともに、作品の価値について考察し、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深めている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを深めている。	・古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深め、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	古文編 ○説話「大江山いくのの道」(『十訓抄』) 漢文編 ○故事・逸話「画竜点睛」(『歴代名画記』) ○故事・逸話「漱石枕流」(『世説新語』) 古文編 ○随筆「中納言参りたまひて」(『枕草子』) 漢文編 ○文章「桃花源記」(『陶淵明集』)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	古文編 ○物語「光源氏の誕生」(『源氏物語』) 漢文編 ○史伝「鴻門の会(一)」(『史記』) ○史伝「鴻門の会(二)」(『史記』) 古文編 ○日記「門出」(『更級日記』) 古文編 ○日記「源氏の五十余巻」(『更級日記』)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	古文編 ○随筆「花は盛りに」(『徒然草』) 漢文編 ○史伝「項王の最期(一)」(『史記』)	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第一学期	4	古文編 ○説話「大江山いくのの道」(『十訓抄』) ・鑑賞 視点「生野」(梨木香歩)／和歌技巧	5
		漢文編 ○故事・逸話「画竜点睛」(『歴代名画記』) ・使役形	3
	5	○故事・逸話「漱石枕流」(『世説新語』) ・疑問形	3
		第一学期中間考査	1
		パフォーマンス課題1 古典の敬語について考える	
	6	古文編 ○随筆「中納言参りたまひて」(『枕草子』) ・敬語の基本／敬語の種類と品詞／敬意の対象	6
		漢文編 ○文章「桃花源記」(『陶淵明集』) ・否定形(部分否定)／疑問形／使役形	5
	7	第一学期期末考査	1
第二学期	8	古文編 ○物語「光源氏の誕生」(『源氏物語』)	6
	9	漢文編 ○史伝「鴻門の会(一)」(『史記』) ・使役形／反語形／受身形	7
	10	第二学期中間考査	1
	11	パフォーマンス課題2 『史記』について考える	
		漢文編 ○史伝「鴻門の会(二)」(『史記』) ・疑問形／抑揚形／限定形	6
	12	古文編 ○日記「門出」(『更級日記』)	2
		古文編 ○日記「源氏の五十余巻」(『更級日記』)	5
		第二学期期末考査	1
第三学期	1	古文編 ○随筆「花は盛りに」(『徒然草』) ・中世の無常観	8
		パフォーマンス課題3 無常観について考える	
	2	漢文編 ○史伝「項王の最期(一)」(『史記』) ・疑問形／詠嘆形／反語形	9
	3	学年末考査	1

5 その他

1年生で学んだ事項に基づき、古典の作品を構成・展開・表現などに即して的確に読解する力を養う。また、文法事項や和歌の修辞技法についてもより深く学んでいく。学期ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文等)のパフォーマンス課題提出、単元ごとにグループワークでの意見交流等を行う。これらの学習を通して自分自身のものの見方、考え方、感じ方を豊かにし、古典常識や社会背景に対する理解を深めていく。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査、第3学期学年末考査の全5回を実施する。なお、学びの基礎診断のテストを、7・11月・1月に実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	文学国語	単位数	2単位
		学年等	2年生文型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考・判断・表現】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
使用教科書 副教材等	使用教科書:「文学国語」(東京書籍) 副教材:「新訂二版 ニューエッジ古文 達成2+」(数研出版) ※2・3年次授業内の演習で使用する。 「新訂二版 ニューエッジ漢文 達成2+」(数研出版) ※2・3年次授業内の演習で使用する。 ※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店) ※「国語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やすとともに、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解しようとしている。	・書くことについて、情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするとともに、文章の構成や展開を工夫しようとしている。また、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を明確にしている。 ・読むことについて、文章の内容や構成、展開、描写の仕方、語り手の視点や表現の特色に注目し、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品の解釈を深めようとしている。	・文学的文章や古典を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深め、人間、社会、自然や先人の考えなどに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第	○随筆	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断	・提出物 ・記述物／作品／レ

一 学 期	「雨月物語」(木内昇) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習 ○小説 「山月記」(中島敦) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習		・記述物／作品／レ ポート等(パフォー マンス課題) ・授業態度／グルー プワーク／発言等 ・自主挑戦課題	ポート等(パフォー マンス課題) ・授業態度／グルー プワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第 二 学 期	○評論 「言葉を生きる」(若松英輔) ○詩歌 「硝子の駒——短歌抄」 ○演習 古文問題演習・漢文問題演習 ○小説 「鞆」(安部公房) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レ ポート等(パフォー マンス課題) ・授業態度／グルー プワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レ ポート等(パフォー マンス課題) ・授業態度／グルー プワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第 三 学 期	○小説 「こころ」(夏目漱石) ○評論 「文学のふるさと」(坂口安吾) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・学びの基礎診断 ・記述物／作品／レ ポート等(パフォー マンス課題) ・授業態度／グルー プワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レ ポート等(パフォー マンス課題) ・授業態度／グルー プワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第 一 学 期	4	○随筆 「雨月物語」(木内昇)	5
	5	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	5
	6	○小説 「山月記」(中島敦)	8
	7	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	5
		パフォーマンス課題1 作品のメッセージを分析する 第一学期期末考査	1

第 二 学 期	8	○評論 「言葉を生きる」(若松英輔)	5
	9	○詩歌 「硝子の駒——短歌抄」	4
	10	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	5
	11	○小説 「鞆」(安部公房)	8
	12	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	5
		パフォーマンス課題 2 短歌を味わう(鑑賞と発表) 第二学期期末考查	1
第 三 学 期	1	○小説 「こころ」(夏目漱石)	9
	2	○評論 「文学のふるさと」(坂口安吾)	5
	3	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	3
		パフォーマンス課題 3 作品のメッセージを分析する 学年末考查	1

5 その他

文学的文章の読解力の向上のためには、読書の習慣をつけることがいちばんの近道と言える。書物にじっくりと向き合い読書の愉しみにひたることが大切なのはもちろんだが、文章の行間にある、明確に書かれていない何ものかを読み解き、推論を繰り返していくことも大切な作業である。授業を読書に触れあうことの入口として、読むことのヒントにしてほしい。また、授業では問題演習を通して古典教材も扱っていく。問題演習も読書の入口となるだろう。なお、学期ごとに文章表現のパフォーマンス課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考查は、第1学期期末考查、第2学期期末考查、第3学期学年末考查の全3回を実施する。学びの基礎診断のテストは、7・11・1月に実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2単位
		学年等	3年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書:「精選論理国語」(東京書籍) 副教材:「新演習 現代文アチーブ3 四訂版」(桐原書店) 「読解を深める現代文単語 評論・小説 改訂版」(桐原書店) ※は継続使用 ※「意味から学ぶ頻出漢字 3000」(第一学習社) ※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店) ※「国語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解し、論証のための必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係や推論の仕方について、理解を深めようとしている。	・書くことについて、様々な観点から情報を収集、整理して、自分の立場や論点を明確にするとともに、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。また、表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、自分の主張が的確に伝わる文章記述を目指している。 ・読むことについて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握しようとしている。さらに、主張を支える根拠や結論を導く論拠を多面的・多角的な視点から批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を評価しようとしている。	・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・各教材の目標や学習内容等に応じて、積極的に、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの学習について、今までの学習を生かして、見通しをもって取り組もうとしている。 ・各単元の具体的な言語活動に前向きに取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	II部①言葉を再考する 「言語と記号」(丸山圭三郎) ○言葉のトレーニング 「地方都市を考える」(貞包英之) II部②近代という時代 「鏡の中の現代社会」(見田宗介) ○探究編 「社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」 II部③メディアを問い直す 「おじいさんのランプ」(宇野常寛)	・定期考査等	・定期考査等 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	II部⑥自己と社会 「サッカーにおける『資本主義の精神』」(大澤真幸) II部⑤困難な時代に 「社会の壊れるとき」(鷲田清一) ○言葉のトレーニング 「つながりとしての段落」(石黒圭) ○探究編「資料を活用して論述する」 II部④他者のいる思考 「原始社会像の真実」(新納泉) ○言葉のトレーニング 「やさしい日本語」(庵功雄) ○演習 問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	○演習 問題演習	・授業での理解等	・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第 一 学 期	4	Ⅱ部①言葉を再考する 「言語と記号」(丸山圭三郎)	5
	5	○言葉のトレーニング 「地方都市を考える」(貞包英之)	3
		第一学期中間考査	1
	6	Ⅱ部②近代という時代 「鏡の中の現代社会」(見田宗介)	5
		○探究編 「社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」 パフォーマンス課題 1 社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く	4
	7	Ⅱ部③メディアを問い直す 「おじいさんのランプ」(宇野常寛)①発見への誘い	5
		第一学期期末考査	1
第 二 学 期	8	Ⅱ部⑥自己と社会	
	9	「サッカーにおける『資本主義の精神』」(大澤真幸)	6
		Ⅱ部⑤困難な時代に 「社会の壊れるとき」(鷲田清一)	5
	10	○言葉のトレーニング 「つながりとしての段落」(石黒圭)	3
		第二学期中間考査	1
		○探究編「資料を活用して論述する」 パフォーマンス課題 2 資料を活用して論述する	3
	11	Ⅱ部④他者のいる思考 「原始社会像の真実」(新納泉)	4
		○言葉のトレーニング 「やさしい日本語」(庵功雄)	1
第 三 学 期	12	○演習 問題演習	4
		第二学期期末考査	1
	1	○演習 問題演習	10
	2	○演習 問題演習	8
	3		

5 その他

論理的文章の読解力の向上には教科書や問題集の文章をじっくり読むだけでなく、日常生活の中で人の意見を聞いた
り、意見をうまくまとめて要領よく発表したりすることが大切な取り組みとなる。論理的な思考ができるように日々しっ
かり考える習慣をつけて欲しい。授業では現代文単語テストや、学期ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文)のパ
フォーマンス課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査の全4回を実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	文学国語	単位数	2単位
		学年等	3年生文型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書:「文学国語」(東京書籍) 副教材:※「新訂二版 ニューエイジ古文 達成2+」(数研出版) ※授業内の演習で使用する。 ※「新訂二版 ニューエイジ漢文 達成2+」(数研出版) ※授業内の演習で使用する。 ※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店) ※は継続使用 ※「国語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やすとともに、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解しようとしている。	・書くことについて、情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするとともに、文章の構成や展開を工夫しようとしている。また、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を明確にしている。 ・読むことについて、文章の内容や構成、展開、描写の仕方、語り手の視点や表現の特色に注目し、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品の解釈を深めようとしている。	・文学的文章や古典を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深め、人間、社会、自然や先人の考えなどに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	○小説 「檸檬」(梶井基次郎) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習 ○随筆 「クレールという女」(須賀敦子) ○評論 「映画の可能性のために」(諏訪敦彦) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	○小説 「舞姫」(森鷗外) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習 ○小説 「葉桜と魔笛」(太宰治) ○演習 古文問題演習・漢文問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	・授業での理解等	・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第一学期	4	○小説 「檸檬」(梶井基次郎) パフォーマンス課題1 作品のメッセージを分析する	5 1
	5	○演習 古文問題演習・漢文問題演習 第一学期中間考査は実施しない	4
	6	○随筆 「クレールという女」(須賀敦子)	4
		○評論 「映画の可能性のために」(諏訪敦彦)	4
	7	○演習 古文問題演習・漢文問題演習 第一学期期末考査	5 1
	8	○小説 「舞姫」(森鷗外)	9
	9	パフォーマンス課題2 作品のメッセージを分析する	1
第二学期	10	○演習 古文問題演習・漢文問題演習 第二学期中間考査は実施しない	4
		○小説 「葉桜と魔笛」(太宰治)	6
	11	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	7
	12	第二学期期末考査	1
第三学期	1	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	10
	2	○演習 古文問題演習・漢文問題演習	8
	3		

5 その他

文学的文章の読解力の向上のためには、読書の習慣をつけることがいちばんの近道と言える。書物にじっくりと向き合い読書の愉しみにひたることが大切なのはもちろんだが、文章の行間にある、明確に書かれていない何ものかを読み解き、推論を繰り返していくことも大切な作業である。授業を読書に触れあうことの入口として、読むことのヒントにしてほしい。また、授業では問題演習を通して古典教材も扱っていく。問題演習も読書の入口となるだろう。なお、学期ごとに文章表現のパフォーマンス課題提出、グループワークでの意見交流等を行う。

※定期考査は、第1学期期末考査、第2学期期末考査の全2回を実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	国語演習	単位数	2単位
		学年等	3年体育コース

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解する能力を育成し、効果的に表現する資質・能力を高める。国語の特質を理解した上で、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、社会で通用する国語力を次のとおり育成することを目指す。 (1)言葉には、理解や思考を支える働きがあることを理解し、言葉の特徴やきまり、漢字などの知識を身に付ける。 (2)論理的に考える力や、対象に深く共感し、豊かに想像する力を身に付け、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる力を養う。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：高等学校 現代の国語(第一学習社) 副教材：改訂版プログレス〈読解・論点・探究〉現代文総演習 発展編(いっずな書店) 国語常識の演習と整理 プライム常用国語(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・実社会に必要な国語に関する技能を身に付けている。 ・言語には、理解や思考を支える働きがあることを理解し、言葉の特徴やきまり、漢字などの知識を身に付けている。	・論理的に考える力や、対象に深く共感し、豊かに想像する力を身に付けている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができる。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	1 論理分析 ○対比 ○具体と抽象 2 論理分析 ○事実と意見 ○推論 3 論理分析 ○主張と根拠 ○主張と反論 ○問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・記述物／レポート等 (パフォーマンス課題) ・グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物の取組 ・記述物／レポート等 (パフォーマンス課題) ・グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

2 学 期	1 話して伝える ○話し方の工夫 ○情報の探索と選択 ○スピーチで自分を伝える 2 書いて伝える ○社会に対する意見文を書く	・定期考査等	・定期考査等 ・記述物／レポート等 （パフォーマンス課題） ・グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物の取組 ・記述物／レポート等 （パフォーマンス課題） ・グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	問題演習	・授業での理解等	・記述物／レポート等 ・グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物の取組 ・記述物／レポート等 ・グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	1 論理分析 ○対比	10
	5	○具体と抽象 ○問題演習	
	6	2 論理分析 ○事実と意見 ○推論	13
	7	3 論理分析 ○主張と根拠 ○主張と反論 パフォーマンス課題 1 テーマに沿って自分の意見を書く 第一学期期末考査	1
2 学 期	8	1 話して伝える	14
	9	○話し方の工夫	
	10	○情報の探索選択 ○スピーチで自分を伝える ○問題演習	
	10	第二学期中間考査は実施しない	
	11	2 書いて伝える ○実用的な手紙文の書き方	13
	12	○社会に対する意見文を書く パフォーマンス課題2 実用的な文章を書く 第二学期期末考査	1
3 学 期	12 1	○問題演習	12

5 その他

教科書や副教材を活用し、語彙や知識を増やし、論理的な思考力や表現力を身に付けていく。実社会の問題や自分に関わる事柄などについて、他者とのかわりを通し、自らの思いや考えを広げ、深めていく。

※定期考査は、第1学期期末考査、第2学期期末考査の全2回を実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2単位
		学年等	3年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考・判断・表現】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書:「古典探究 古文編」(大修館書店) 「古典探究 漢文編」(大修館書店) 副教材:「錬成古文 大学入学共通テスト対策 新装版 2+」(尚文出版) 「錬成漢文 大学入学共通テスト対策 新装版 2+」(尚文出版) ※「読んで見て覚える重要古文単語 315 四訂版」(桐原書店) ※は継続使用 ※「解釈のための必携古典文法 三訂新版」(啓隆社) ※「書き込みながら覚える古典文法ワークノート」(第一学習社) ※「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版」(桐原書店) ※「【基礎から解釈へ】漢文必携 五訂版チェックノート」《基本編》(桐原書店) ※「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店) ※「古語辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。) ※「漢和辞典」(紙辞書の場合、出版社は問わない。Web上の辞書を活用することもある。)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を深く解釈するとともに、作品の価値について考察し、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深めている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを深めている。	・古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深め、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一学期	古文編 ○物語「若紫との出会い」(『源氏物語』) 漢文編 ○思想「賢哉回也」(『論語』) ○思想「不忍人之心」(『孟子』) 古文編 ○日記「町の小路の女」(『蜻蛉日記』) 漢文編 ○思想「人之性悪」(『荀子』) ○文章「春夜宴桃李園序」(『古文真宝後集』) 古文編 ○日記「薫る香に」(『和泉式部日記』)	・定期考査等	・定期考査等 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第二学期	古文編 ○物語「葵」(『源氏物語』) 漢文編 ○思想「小国寡民」(『老子』) ○思想「曳尾於塗中」(『莊子』) ○思想「侵官之害」(『韓非子』) 古文編 ○物語「須磨」(『源氏物語』) 漢文編 ○文章「師説」(『唐宋八家文読本』) ○演習 問題演習	・定期考査等	・定期考査等 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・提出物 ・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点
第三学期	○演習 問題演習	・授業での理解等	・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題	・記述物／作品／レポート等(パフォーマンス課題) ・授業態度／グループワーク／発言等 ・自主挑戦課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第一学期	4	古文編 ○物語「若紫との出会い」(『源氏物語』)	5
	5	漢文編 ○思想「賢哉回也」(『論語』) ○思想「不忍人之心」(『孟子』)	2
			2
		第一学期中間考査	1
	6	古文編 ○日記「町の小路の女」(『蜻蛉日記』)	4
		パフォーマンス課題 1 平安朝の女流作家について考える	
		文編 ○思想「人之性悪」(『荀子』) ○文章「春夜宴桃李園序」(『古文真宝後集』)	2
第二学期	7	古文編 ○日記「薫る香に」(『和泉式部日記』)	3
			4
		第一学期期末考査	1
	8	古文編 ○物語「葵」(『源氏物語』)	6
	9	パフォーマンス課題 2 『源氏物語』について考える	1
		漢文編 ○思想「小国寡民」(『老子』) ○思想「曳尾於塗中」(『莊子』)	2
			2
	10	○思想「侵官之害」(『韓非子』)	2
			1
		第二学期中間考査	
	11	古文編 ○物語「須磨」(『源氏物語』)	4
		漢文編 ○文章「師説」(『唐宋八家文読本』)	3
		○演習 問題演習	6
第三学期	12		1
		第二学期期末考査	
	1	○演習 問題演習	10
第三学期	2	○演習 問題演習	8
	3		

5 その他

これまでに学んだ事項に基づき、古典の作品を構成・展開・表現などに即して的確に読解する力を養う。また、文法事項や和歌の修辞技法についても更に深く学んでいく。授業では古文単語テストや、学期ごとに文章表現(解釈文、感想文、意見文、批評文等)のパフォーマンス課題提出、単元ごとにグループワークでの意見交流等を行う。これらの学習を通して自分自身のものの見方、考え方、感じ方を豊かにし、古典の世界及び社会背景に対する理解を深めていく。

※定期考査は、第1学期中間考査・期末考査、第2学期中間考査・期末考査の全4回を実施する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	歴史総合	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:東京書籍『新選 歴史総合』 資料集:帝国書院『明解 歴史総合図説 シンフォニア』 問題集:山川出版社『歴史総合問題集』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	【第2章 近代化と私たち】 第1節 近代化への問い 第2節 結びつく世界と日本の開国 第3節 国民国家と明治維新 第4節 近代化と現代的な諸課題	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・パフォーマンス課題 ・提出物等
		60点	60点	80点
2学期	【第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち】 第1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 第2節 第一次世界大戦と大衆社会 第3節 経済危機と第二次世界大戦 第4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・夏課題	・授業観察 ・パフォーマンス課題 ・提出物等 ・夏課題
		120点	120点	100点
3学期	【第4章 グローバル化と私たち】 第1節 グローバル化への問い 第2節 冷戦と世界経済 第3節 世界秩序の変容と日本 第4節 現代的な諸課題の形成と展望	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・パフォーマンス課題 ・提出物等
		60点	60点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	【第2章 近代化と私たち】 第1節 近代化への問い 第2節 結びつく世界と日本の開国 1 18世紀の東アジア 2 結びつくアジア諸地域 3 18世紀のヨーロッパとアジア	1 9
	5	4 産業革命のはじまり 5 世界市場の形成 6 東アジア国際関係の変化と日本の開国 7 世界経済の変化と日本の産業革命	
	6	第3節 国民国家と明治維新 1 市民革命と近代社会 2 自由主義とナショナリズム 3 アジアの諸国家とその変容 4 明治維新と東アジアの国際関係 5 立憲制の広まり 6 帝国主義と植民地 7 日清戦争と華夷秩序の解体 8 帝国主義諸国の競合と国際関係 9 植民地支配と植民地の近代 10 20世紀はじめの世界	
	7	第4節 近代化と現代的な諸課題 パフォーマンス課題 1:近代化と私たち 1 学期期末考査	13 1
2 学 期	7	【第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち】 第1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 第2節 第一次世界大戦と大衆社会 1 大衆社会の時代	1 13
	8	2 第一次世界大戦の展開 3 国際協調体制の形成 4 ソヴィエト連邦の成立と社会主義 5 アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会 6 アジアの経済成長と移動する人々 7 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 8 民主主義の拡大と社会変革の動き 9 マスメディアの発達と日常生活	
	9	第3節 経済危機と第二次世界大戦 1 世界恐慌 2 アジア・アフリカと大衆社会 3 国際協調体制の崩壊 4 日中戦争と深刻化する世界の危機 5 第二次世界大戦の勃発 6 第二次世界大戦における連合国と戦後構想 7 アジア太平洋戦争と日本の敗戦 8 連合国の占領政策と冷戦 9 再編されるアジアと冷戦	
	10	第4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 2 学期中間考査 パフォーマンス課題 2:プレゼンテーション資料作り パフォーマンス課題 3:大衆化と私たち 2 学期期末考査	13 1
	11		

3 学 期	12	【第4章 グローバル化と私たち】	パフォーマンス課題 4: グローバル化と私たち	1 8
		第1節 グローバル化への問い		
		第2節 冷戦と世界経済		
		1 冷戦の拡大と第三勢力		
	1	2 キューバ危機と核兵器の管理		8
		3 脱植民地化の進展と地域紛争		
		4 計画経済と開発		
		5 冷戦下の日本とアジア		
		6 日本と欧米先進国の経済成長		
		7 地域連携の拡大		
		8 ベトナム戦争と冷戦構造の変容		
		第3節 世界秩序の変容と日本		
	2	1 問い直される近代		1
		2 石油危機と経済の自由化		
		3 アジアの経済発展と日本		
		4 冷戦の終結と世界		
		5 拡散する地域紛争		
		6 民主化の進展		
		7 グローバル化と地域統合		
		8 岐路に立つ世界と日本		
		第4節 現代的な諸課題の形成と展望	学年末考査	

5 その他

※ 授業進度によって、扱う単元や課題のテーマに変更があります。教科担当者の指示に従って取り組んでください。

※ ルーブリックに基づくパフォーマンス評価を課題等で定期的に行います。教科担当者の指示に従って取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	2単位
		学年等	2年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:東京書籍『地理総合』 地図帳:二宮書店『詳解現代地図』 資料集:帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE 2025』 副教材:とうほう『ウィニングコンパス 2025』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地図情報システムの役割 第3章 資料から読み取る現代社会	定期テスト等	定期テスト等 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出物等
		65点	55点	60点
2 学 期	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 第2章 様々な地球的課題と国際協力	定期テスト等	定期テスト等 パフォーマンス課題 長期休暇課題	パフォーマンス課題 長期休暇課題 提出物等
		70点	70点	80点
3 学 期	第2編 国際理解と国際協力 第2章 様々な地球的課題と国際協力 第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第2章 生活圏の調査と地域の展望	定期テスト等	定期テスト等 パフォーマンス課題 長期休暇課題	パフォーマンス課題 長期休暇課題 提出物等
		65点	75点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界	6
	5	第2章 地図や地理情報システムの役割 パフォーマンス課題:地図	7
	6	第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	8
	7	1節 生活文化の多様性と国際理解 2節 生活文化と自然環境①地形 期末考查	
	7	第2編 国際理解と国際協力	11
	8	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 3節 生活文化と自然環境②気候 4節 生活文化と産業 パフォーマンス課題:生活文化	
	9	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境の特色 2節 さまざまな自然災害と防災	
2 学 期	10	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 3節 人口問題 4節 食料問題 期末考查	
	11		14
	12		
	12	4節 生活文化と産業	
	1	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 5節 居住・都市問題	5
	2	6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして	
	3	第3編 持続可能な地域づくりとわたしたち 第2章 生活圏の調査と地域の展望 パフォーマンス課題:地球的課題 学年末考查	
3 学 期			4

5 その他

- ※ 授業進度によって、扱う単元や課題のテーマに変更があります。教科担当者の指示に従って取り組んでください。
- ※ ルーブリックに基づくパフォーマンス評価を課題等で定期的に行います。教科担当者の指示に従って取り組んでください。
- ※ 連絡や課題提出に ICT 機器を活用し、classroom 上で行いますので、定期的に確認をしてください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	2単位
		学年等	2年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、我が国の歴史の展開に関わる諸事象についての課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成すること。
使用教科書 副教材等	山川出版社 『詳説 日本史探究』 浜島書店 『新詳 日本史』 浜島書店 『詳説 ゼミナール日本史』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	【第Ⅰ部 原始・古代】 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	60点	60点	80点
2	第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開 【第Ⅱ部 中世】 第5章 院政と武士の躍進	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	120点	110点	90点
3	第6章 武家政権の成立	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	60点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	【第1部 原始・古代】 第1章 日本文化のあけぼの	6
	5	第2章 古墳とヤマト政権	6
	6	第3章 律令国家の形成 パフォーマンス課題①	8
		1学期期末考査 -----	1
2	7		2
	8		2
	9	第4章 貴族政治の展開	6
	10	2学期中間考査 -----	1
		【第Ⅱ部 中世】 第5章 院政と武士の躍進	6
	11	パフォーマンス課題② 2学期期末考査 -----	8 1
3	12	第6章 武家政権の成立	4
	1		8
	2	パフォーマンス課題③	8
	3	学年末考査 -----	1 2

5 その他

授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

授業ではパフォーマンス課題を課します。授業担当の指示をよく聞いて、課題に取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	2単位
		学年等	2年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:『詳説世界史』 山川出版社 副教材:『最新世界史図説 タペストリー 二十一訂版』 帝国書院 『世界史重要語句 Check List』 啓隆社 『ウイニングコンパス 世界史の整理と演習 2023』 とうほう

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	210点	210点	210点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	定期考査等	定期考査等 まとめノート	提出物 まとめノート 授業態度
	評価点	70点	50点	50点
2	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題 まとめノート	提出物 パフォーマンス課題 まとめノート 授業態度
	評価点	70点	80点	80点
3	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題 まとめノート	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
	評価点	70点	80点	80点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	第1章 文明の成立と古代文明の特質 文明の誕生	21
	5	古代オリエント文明とその周辺 南アジアの古代文明	
	6	中国の古代文明 南北アメリカ文明 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界	
	7	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 秦・漢帝国 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成	
2	8	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 仏教の成立と南アジアの統一国家	26
	9	インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開	
		第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	
	10	イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家	
	11	ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展	
	12	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成	
3	1	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 イスラーム教の諸地域への伝播	23
	2	西アジアの動向 西ヨーロッパの封建社会とその展開	
	3	東ヨーロッパ世界の展開	

5 その他

授業前に図表などで本日学習するページを読んでおきましょう。すきま時間や自習時間を利用して学習内容を教科書やノートで確認する習慣をつけてください。そうすることによって理解が深まり、知識が定着します。
なお進捗等については、多少の変動があるものとし、変更があれば授業内で連絡します。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理探究	単位数	3単位
		学年等	3 年生型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会的事象において、課題を追究したり解決したりする活動を通して、「地理的な見方・考え方」を育むと同時に、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:帝国書院 『新詳地理探究』 地図帳:二宮書店 『詳解現代地図』 資料集:帝国書院 『新詳地理資料 COMPLETE 2024』 副教材:とうほう 『ウィニングコンパス 2024』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。	地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価点	240 点	240 点	240 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	【第 1 部 現代世界の系統地理的考察】 第 2 章 資源と産業 第 4 章 人口、村落・都市 第 5 章 生活文化、民族・宗教	・定期考査等	・定期考査 ・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
		120 点	100 点	80 点
2 学 期	【第 2 部 現代世界の地誌的考察】 第 2 章 現代世界の諸地域	・定期考査等	・定期考査 ・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
		120 点	100 点	80 点
3 学 期			・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
			40点	80点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	【第1部 現代世界の系統地理的考察】 第2章 資源と産業 ～エネルギー・鉱産資源と工業～ 第4章 人口、村落・都市	10
	5	1節 人口 2節 人口問題 -----	10 1学期中間 授業内課題等
	6	3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 第5章 生活文化、民族・宗教 【第2部 現代世界の地誌的考察】 第2章 現代世界の諸地域	10
	7	1節 中国 2節 韓国	6 1学期期末 授業内課題等
2 学 期	8	3節 ASEAN 諸国 4節 インド	6
	9	5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ	12 2学期中間 授業内課題等
	10	7節 EU 諸国 -----	13
	11	8節 ロシア 9節 アメリカ合衆国	13 2学期期末 授業内課題等
	12	10節 ラテンアメリカ	10
3 学 期	1	11節 オーストラリアとニュージーランド	12
	2	「現代世界の地誌的考察」の総括	3 授業内課題等

5 その他

※ 授業進度によって、扱う単元や課題のテーマに変更があります。教科担当者の指示に従って取り組んでください。

※ ルーブリックに基づくパフォーマンス評価を課題等で定期的に行います。教科担当者の指示に従って取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理探究	単位数	4単位
		学年等	3 年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会的事象において、課題を追究したり解決したりする活動を通して、「地理的な見方・考え方」を育むと同時に、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:帝国書院『新詳地理探究』 地図帳:二宮書店『詳解現代地図』 資料集:帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE 2024』 副教材:とうほう『ウィニングコンパス2024』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。	地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価点	240 点	240 点	240 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	【第1部 現代世界の系統地理的考察】 第2章 資源と産業 第4章 人口、村落・都市 第5章 生活文化、民族・宗教	・定期考査等	・定期考査 ・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
		120 点	100点	80点
2 学 期	【第2部 現代世界の地誌的考察】 第2章 現代世界の諸地域	・定期考査等	・定期考査 ・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
		120点	100 点	80 点
3 学 期			・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
			40点	80点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	【第1部 現代世界の系統地理的考察】 第2章 資源と産業 ～エネルギー・鉱産資源と工業～ 第4章 人口、村落・都市	12
	5	第1節 人口 第2節 人口問題 第3節 村落と都市	16
		1学期中間検査 授業内課題等	
	6	第5章 生活文化、民族・宗教	16
	7	【第2部 現代世界の地誌的考察】 第2章 現代世界の諸地域 第1節 中国 第2節 韓国	8
		1学期期末検査 授業内課題等	
2 学 期	8	第3節 ASEAN 諸国	6
		第4節 インド	
	9	第5節 西アジアと中央アジア	16
		第6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ	
	10	第7節 EU 諸国	17
		2学期中間検査 授業内課題等	
2 学 期	11	第8節 ロシア	17
		第9節 アメリカ合衆国	
	12	第10節 ラテンアメリカ	12
		2学期期末検査 授業内課題等	
3 学 期	1	第11節 オーストラリアとニュージーランド	14
	2	『現代世界の地誌的考察』の総括	6
		授業内課題等	

5 その他

- ※ 授業進度によって、扱う単元や課題のテーマに変更があります。授業担当者の指示に従って取り組んでください。
- ※ まとめプリントの評価を課題等で定期的に行います。授業担当者の指示に従って取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理探究	単位数	4単位
		学年等	3 年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会的事象において、課題を追究したり解決したりする活動を通して、「地理的な見方・考え方」を育むと同時に、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:帝国書院『新詳地理探究』 地図帳:二宮書店『詳解現代地図』 資料集:帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE 2024』 副教材:とうほう『ウィニングコンパス2024』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。	地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価点	240 点	240 点	240 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	【第2部 現代世界の系統地理的考察】 第2章 資源と産業 第4章 人口、村落・都市 第5章 生活文化、民族・宗教	・定期考査等	・定期考査 ・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
		120 点	100点	80点
2 学 期	【第2部 現代世界の地誌的考察】 第2章 現代世界の諸地域	・定期考査等	・定期考査 ・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
		120点	100 点	80 点
3 学 期			・授業内課題等	・授業態度 ・授業内課題等
			40点	80点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	【第3部 現代世界の系統地理的考察】 第2章 資源と産業 ～エネルギー・鉱産資源と工業～ 第4章 人口、村落・都市	12
	5	第1節 人口 第2節 人口問題 第3節 村落と都市	16
		1学期中間検査 授業内課題等	
	6	第5章 生活文化、民族・宗教	16
	7	【第4部 現代世界の地誌的考察】 第2章 現代世界の諸地域 第1節 中国 第2節 韓国	8
		1学期期末検査 授業内課題等	
2 学 期	8	第3節 ASEAN 諸国	6
		第4節 インド	
	9	第5節 西アジアと中央アジア	16
		第6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ	
	10	第7節 EU 諸国	17
		2学期中間検査 授業内課題等	
2 学 期	11	第8節 ロシア	17
		第9節 アメリカ合衆国	
	12	第10節 ラテンアメリカ	12
		2学期期末検査 授業内課題等	
3 学 期	1	第11節 オーストラリアとニュージーランド	14
	2	『現代世界の地誌的考察』の総括	6
		授業内課題等	

5 その他

- ※ 授業進度によって、扱う単元や課題のテーマに変更があります。授業担当者の指示に従って取り組んでください。
- ※ まとめプリントの評価を課題等で定期的に行います。授業担当者の指示に従って取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	4単位
		学年等	3年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、我が国の歴史の展開に関わる諸事象についての課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成すること。
使用教科書 副教材等	第一学習社 『高等学校 日本史探究』 浜島書店 『新詳 日本史』 山川出版社 『詳説日本史 スタンダードテスト』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	【第2章 中世の日本と世界】 第2節、第3節 【第3章 近世の日本と世界】 第1節、第2節	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
		120点	100点	80点
2 学期	【第3章 近世の日本と世界】 第3節、第4節 【第4章 近現代の地域・日本と世界】 第1節、第2節、第3節、第4節	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
		120点	120点	100点
3 学期	【第4章 近現代の地域・日本と世界】 第5節、第6節、第7節、第8節		パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
			20点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	【第2章 中世の日本と世界】 第2節 鎌倉幕府の展開	12
	5	第3節 室町幕府の展開 1 学期中間調査	16
	6	【第3章 近世の日本と世界】 第1節 近世への転換 第2節 幕藩体制の確立 パフォーマンス課題① 時代まとめプリント 1 学期期末調査	16
2 学 期	7	第3節 幕藩体制の展開	8
	8	第4節 社会の変化と幕府の対応	6
	9	【第4章】近現代の地域・日本と世界 第1節 近代への転換	16
	10	パフォーマンス課題② 時代まとめプリント 2 学期中間調査	17
	11	第2節 近代国家の形成 第3節 国際関係の推移と近代産業の発展 第4節 第一次世界大戦と日本 パフォーマンス課題③ 時代まとめプリント 2 学期期末調査	17
3 学 期	12	第5節 軍部の台頭と戦争の長期化	12
	1	第6節 日本の再建 第7節 経済の発展 パフォーマンス課題④ 時代まとめプリント	14
	2	第8節 経済大国とグローバル化	6

5 その他

授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

授業ではパフォーマンス課題を課します。授業担当の指示をよく聞いて、課題に取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	4単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、我が国の歴史の展開に関わる諸事象についての課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成すること。
使用教科書 副教材等	第一学習社 『高等学校 日本史探究』 浜島書店 『新詳 日本史』 浜島書店 『要点整理 ゼミナール日本史』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	【第1章 原始・古代の日本と東アジア】 第1節、第2節、第3節	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
		120点	100点	80点
2 学 期	【第2章 中世の日本と世界】 第1節、第2節、第3節 【第3章 近世の日本と世界】 第1節、第2節、第3節	定期考査等	定期考査等 パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
		120点	120点	100点
3 学 期	【第3章 近世の日本と世界】 第4節		パフォーマンス課題	提出物 パフォーマンス課題 授業態度
			20点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	【第1章 原始・古代の日本と東アジア】 第1節 日本文化の黎明	12
	5	第2節 ヤマト政権と律令国家の形成 1学期中間調査	16
	6	第3節 律令国家の変容 パフォーマンス課題① 時代まとめプリント 1学期期末調査	16
2 学 期	7	【第2章 中世の日本と世界】 第1節 中世への転換	8
	8	第2節 鎌倉幕府の展開	6
	9	第3節 室町幕府の展開 パフォーマンス課題② 時代まとめプリント	16
	10	【第3章 近世の日本と世界】 第1節 近世への転換 2学期中間調査 第2節 幕藩体制の確立	17
	11	第3節 幕藩体制の展開 パフォーマンス課題③ 時代まとめプリント 2学期期末調査	17
3 学 期	12	第4節 社会の変化と幕府の対応	12
	1	パフォーマンス課題④ 時代まとめプリント	14
	2	総復習	6

5 その他

授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

1年次に学習した歴史総合の範囲も踏まえた指導計画になっています。

授業ではパフォーマンス課題を課します。授業担当の指示をよく聞いて、課題に取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	4単位
		学年等	3年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	年生時に学んだ内容を基礎に、歴史の大きな枠組みと流れを縦の繋がりだけでなく横の繋がりも意識しながら理解する。また日本の歴史と関連付けながら、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:『詳説世界史』 山川出版社 副教材:『最新世界史図説 タペストリー 二十一訂版』 帝国書院 『世界史重要語句 Check List』 啓隆社 『ウイニングコンパス 世界史の整理と演習 2023』 とうほう

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	○ イスラーム今日の伝播と西アジアの動向 ○ ヨーロッパ世界の変容と展開 ○ 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ○ 大交易・大交流の時代 ○ アジアの諸帝国の繁栄	定期考査	定期考査 まとめノート	提出物 まとめノート 授業態度
		120	100	80
2 学期	○ 近世ヨーロッパ世界の動向 ○ 産業革命と環大西洋革命 ○ イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ○ アジア諸地域の動揺 ○ 帝国主義とアジアの民族運動 ○ 第一次世界大戦と世界の変容 ○ 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	定期考査	定期考査 課題プリント パフォーマンス課題	提出物 まとめノート パフォーマンス課題 授業態度

		120	100	80
3 学期	○ 冷戦と第三世界の台頭 ○ 冷戦の終結と今日の世界		課題	課題 授業態度
			40	80

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第二部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム今日の伝播と西アジアの動向	7
	5	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 中間考査	12
	6	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	6
	7	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄	8
		期末考査	10
2 学期	8	第三章 諸地域の結合・変容 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	12
	9	第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	10
	10	第14章 アジア諸地域の動揺 中間考査	8
	11	第15章 帝国主義とアジアの民族運動	8
	12	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	8
		期末考査	9
3 学期	1	第四章 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界	10
		既存学習内容の総復習	10
			12
	2		

5 その他

授業前に教科書や資料集を読み、学ぶ内容に興味をもってみましょう。ただ用語を暗記するだけではなく、「歴史の流れ」を理解し、言葉で説明できるようになると、知識がより定着します。

授業に関する詳細については、初回オリエンテーションにて確認します。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	4単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書:『詳説世界史』 山川出版社 副教材:『最新世界史図説 タペストリー 二十二訂版』 帝国書院

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	○ 文明の成立と古代文明の特質 ○ 中央ユーラシアと東アジア世界 ○ 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ○ 西アジアと地中海周辺の世界形成 ○ イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ○ イスラーム教の伝播と西アジアの動向	定期考査	定期考査 課題	提出物 課題 授業態度
		120	80	80
2 学期	○ ヨーロッパ世界の変容と展開 ○ 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ○ 大交易・大交流の時代 ○ アジアの諸帝国の繁栄 ○ 近世ヨーロッパ世界の動向 ○ 産業革命と環大西洋革命 ○ イギリスの優位と欧米国民国家の形成	定期考査 小テスト	定期考査 課題 パフォーマンス課題	提出物 課題 パフォーマンス課題 授業態度

	○ アジア諸地域の動揺 ○ 帝国主義とアジアの民族運動			
		120	130	110
3 学 期	○ 第一次世界大戦と世界の変容 ○ 既存学習の総復習		課題	課題 授業態度
			30	50

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	世界史へのまなざし 第一部 諸地域世界の歴史的特質の形成	1
	5	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 ■中間考査	8 8
	6	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第二部 諸地域の交流・再編	5 10
	7	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ■期末考査	7 5
	8	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	9
	9	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	7
	10	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 ■中間考査	5 8 10
2 学 期	11	第三部 諸地域の結合・変容	
	12	第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 ■期末考査	8 8 8 8
3 学 期	1	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 既存学習の総復習	8 10
	2	既存学習の総復習	7
	3		

5 その他

1年次で学習した歴史総合との接続を意識した授業を行います。
「教えてもらう」「説明してもらう」という受け身の姿勢ではなく、「なぜ?」「どういうこと?」と自分から疑問を生み出す姿勢で取り組んでください。

令和 7 年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	公共	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
使用教科書 副教材等	教科書:高等学校 公共(第一学習社) 副教材等:クローズアップ公共2025(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	・定期考査等	・定期考査等 ・ワークシート	・授業中の行動観察 ・提出物 ・ワークシート

1 学 期	主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義			
	評価点	70点	50点	50点
2 学 期	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成 主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界	・定期考査等	・定期考査等 ・ワークシート ・長期休業課題	・授業中の行動観察 ・提出物 ・ワークシート ・長期休業課題
	評価点	70点	70点	80点
3 学 期	主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・定期考査等	・定期考査等 ・ワークシート ・長期休業課題	・授業中の行動観察 ・提出物 ・ワークシート ・長期休業課題
	評価点	60点	80点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	24
	5	第3章 公共的な空間における基本的原理	
	6	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任	
	7	主題3 司法参加の意義	
2 学 期	8	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成	30
	9	主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛	
	10	主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち	
	11	主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観	
	12	主題10 市場経済の機能と限界	

3 学 期	1	主題 11 金融のはたらき	16
		主題 12 財政の役割と社会保障	
	2	主題 13 経済のグローバル化	
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	

5 その他

・ 定期考査に加えて、日々の授業への参加・取り組み状況、提出物への取り組み状況などを総合的に評価します。 ・ 授業時数の関係や進度等によりシラバスを変更することもあります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	倫理	単位数	2単位
		学年等	3年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としてのあり方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者とともに生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
使用教科書 副教材等	「高等学校 改訂版 倫理」(第一学習社) 「テオリア 最新倫理資料集 新版二訂」(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して、学習上の課題を意欲的に追究しようとして、他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて、多面的・多角的に考察しようとしていたりしている。
評価点	180	180	180

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第2章 人間の存在や価値と宗教 第3章 人間のあり方と社会	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	授業態度 パフォーマンス課題 発問評価 提出物
		90	80	70
2 学 期	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想 第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	授業態度 パフォーマンス課題 発問評価 提出物
		90	80	70
3 学 期	第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理			提出物 授業態度
			20	40

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期の課題と自己形成 ※ 第2章 人間の存在や価値と宗教 ①ギリシアの思想	10
	5	②ユダヤ教とキリスト教 ③イスラム	
	6	④仏教 ⑤中国の思想 ……………小テスト	
	7	⑥宗教や芸術 第3章 人間のあり方と社会 ……………期末テスト	
		①人間の尊厳 ②科学革命の時代と自然観	14
2 学期	8	③自由で平等な社会の実現 ④人間性の回復と主体性の確立 第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	13
	9	①現代の思想と人間像 ②生命への畏敬と社会参加 第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ……………小テスト	
	10	①日本固有の思想 ②外来思想の受容	
	11	③町人意識のめざめと庶民思想 ④西洋思想との出会い ……………期末テスト	
	12	第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 ①生命の問題と倫理課題	10
3 学期	1	②地球環境の問題と倫理的課題 ③ 科学技術の進展と倫理的課題	7
	2	第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理	
	3	① 福祉の向上と倫理的課題 ② 文化と宗教の影響と倫理的課題 ③ 国際平和と倫理的課題	6

5 その他

- ・ 第1章「青年期の課題と自己形成」については、2年次に履修した「公共」の内容と概ね重なる、3年次は「第2章人間の存在や価値と宗教」から始めます。
- ・ 授業時数の関係や進度等によりシラバスを変更することもあります。

令和 7 年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	政治・経済	単位数	3単位
		学年等	3年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3)よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。
使用教科書 副教材等	教科書：第一学習社『高等学校 政治・経済』 資料集：第一学習社『最新政治・経済資料集2025』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用し、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明すると共に、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価点	240	240	240

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第3節 市場経済の機能と限界 第4節 持続可能な財政および租税のあり方 第5節 金融を通じた経済活動の活性化 第6節 経済活動と福祉の向上	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	授業態度 パフォーマンス課題 発問評価 提出物

		120	120	100
2 学期	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 第1節 国際法の果たす役割 第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	授業態度 パフォーマンス課題 発問評価 提出物
		120	120	100
3 学期	第4節 国際経済において求められる日本の役割			提出物 授業態度
				40

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第3節 市場経済の機能と限界 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環	15
	5	③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 第4節 持続可能な財政および租税のあり方	
	6	①財政のしくみと租税の意義 第5節 金融を通じた経済活動の活性化 ①金融のしくみとはたらき	
	7	第6節 経済活動と福祉の向上 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題	20

2 学 期	8	② 労使関係と労働問題	25
	9	③ 社会保障制度と福祉のあり方	
		第2編 グローバル化する国際社会の諸課題	
		第1章 現代の国際政治・経済	
2 学 期		第1節 国際法の果たす役割	30
	10	① 国際社会の変遷	
		② 国際法の意義	
		③ 国際機構の役割	
		④ 国際紛争と軍縮への取り組み	
		第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	
	11	① 日本の安全保障と国際貢献	
		第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	
3 学 期		① 貿易の現状と意義	15
		② 国民経済と国際収支	
	12	③ 為替相場の変動	
		④ 国際協調と国際経済機関の役割	
3 学 期	1	第4節 国際経済において求められる日本の役割	15
	2	① 国際経済における日本の地位と国際協力	
	3		

5 その他

[政治分野]第1節 日本国憲法と現代政治のあり方、第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方は2年時、公共で学習しているため[経済分野]第3節 市場経済の機能と限界から始める。
進度によりシラバスの変更はあります。

令和 7 年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	政治・経済	単位数	3単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3)よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。
使用教科書 副教材等	教科書：第一学習社『高等学校 政治・経済』 資料集：第一学習社『最新政治・経済資料集2025』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用し、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明すると共に、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価点	240	240	240

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第3節 市場経済の機能と限界 第4節 持続可能な財政および租税のあり方 第5節 金融を通じた経済活動の活性化 第6節 経済活動と福祉の向上	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	授業態度 パフォーマンス課題 発問評価 提出物

		120	120	100
2 学期	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 第1節 国際法の果たす役割 第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	定期考査等 小テスト ワークシート 発問評価	授業態度 パフォーマンス課題 発問評価 提出物
		120	120	100
3 学期	第4節 国際経済において求められる日本の役割			提出物 授業態度
				40

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第3節 市場経済の機能と限界 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環	15
	5	③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 第4節 持続可能な財政および租税のあり方	
	6	①財政のしくみと租税の意義 第5節 金融を通じた経済活動の活性化 ①金融のしくみとはたらき 第6節 経済活動と福祉の向上	20
	7	①日本経済の変化と中小企業・農業問題	

2 学 期	8	② 労使関係と労働問題	25
	9	③ 社会保障制度と福祉のあり方	
		第2編 グローバル化する国際社会の諸課題	
		第1章 現代の国際政治・経済	
2 学 期		第1節 国際法の果たす役割	30
	10	① 国際社会の変遷	
		② 国際法の意義	
		③ 国際機構の役割	
		④ 国際紛争と軍縮への取り組み	
		第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	
	11	① 日本の安全保障と国際貢献	
		第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	
3 学 期		① 貿易の現状と意義	15
		② 国民経済と国際収支	
	12	③ 為替相場の変動	
		④ 国際協調と国際経済機関の役割	
3 学 期	1	第4節 国際経済において求められる日本の役割	15
	2	① 国際経済における日本の地位と国際協力	
	3		

5 その他

[政治分野]第1節 日本国憲法と現代政治のあり方、第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方は2年時、公共で学習しているため[経済分野]第3節 市場経済の機能と限界から始める。
進度によりシラバスの変更はあります。